

茅ヶ崎市における循環のみちの実現

事後評価

神奈川県茅ヶ崎市

平成29年1月5日

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成29年1月5日

計画の名称	茅ヶ崎市における循環のみちの実現		
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度 (5年間)	交付対象	茅ヶ崎市
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。		

計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> ①下水道による都市浸水対策達成率を47% (H23) から48% (H27) に増加させる。 ②重要な管渠の地震対策実施率を27% (H23) から69% (H27) に増加させる。 ③合流式下水道改善率を61% (H23) から100% (H25) に増加させる。 ④下水道処理人口普及率を95% (H23) から97% (H27) に増加させる。 ⑤重要なポンプ場の地震対策実施率を0% (H23) から50% (H27) に増加させる。 ⑥重要な管渠の長寿命化対策実施率を0% (H23) から44% (H27) に増加させる。
-----------------	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)							
①下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積 (ha) / 浸水対策を実施すべき面積 (ha)	47%	48%	48%							
②重要な管渠の地震対策実施率 緊急地震対策の対象管渠のうち、耐震化または減災対策が行われている延長 (km) / 対象管渠の延長 (km)	27%	39%	69%							
③合流式下水道改善率 合流式下水道改善済み面積 (ha) / 合流区域面積 (ha)	61%	100%	100%							
④下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口 (人) / 認可区域人口 (人)	95%	97%	97%							
⑤重要なポンプ場の地震対策実施率 総合地震対策の対象ポンプ場のうち、耐震化または減災対策が行われている施設 (箇所) / 対象施設 (箇所)	0%	0%	50%							
⑥重要な管渠の長寿命化対策実施率 長寿命化対策の対象管渠のうち、長寿命化が行われている延長 (km) / 対象管渠の延長 (km)	0%	0%	44%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	3,644	A	3,644	B	0	C	0	効果促進事業費の割合	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
第三者機関である下水道運営審議会において、各指標の達成状況についての評価を実施	交付期間終了後 公表の方法 ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 下水道事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
No.1処理区																	
A1-1-1	下水道	一般	茅ヶ崎市	直接	-	雨水	新設	浜竹雨水幹線(浸水対策)	L=0.5km	茅ヶ崎市						404	
A1-1-2	下水道	一般	茅ヶ崎市	直接	-	雨水	新設	萩園第二雨水幹線(浸水対策)	L=0.9km	茅ヶ崎市						348	
A1-1-3	下水道	一般	茅ヶ崎市	直接	-	合流	新設	松が丘・浜須賀排水区(合流改善)	貯留管(7,300m ³)	茅ヶ崎市						1,522	合流改善
A1-1-4	下水道	一般	茅ヶ崎市	直接	-	合流	改築	東海岸幹線(地震対策)	L=0.3km(管更生)	茅ヶ崎市						247	緊急地震対策
A1-1-5	下水道	一般	茅ヶ崎市	直接	-	雨汚水	全種	長寿命化事業	詳細設計・改築修繕	茅ヶ崎市						24	長寿命化支援
A1-1-6	下水道	一般	茅ヶ崎市	直接	-	雨水	新築	市内雨水枝線整備(浸水対策)	30ha	茅ヶ崎市						315	
A1-1-7	下水道	一般	茅ヶ崎市	直接	-	汚水	新築	市内汚水枝線整備(未普及)	L=0.4km	茅ヶ崎市						102	
A1-1-8	下水道	一般	茅ヶ崎市	直接	-	雨水	新築	古相模橋ポンプ場	雨水ポンプ 167m ³ /min	茅ヶ崎市						419	
A1-1-9	下水道	一般	茅ヶ崎市	直接	-	雨水	新築	新千ノ川橋ポンプ	雨水ポンプ 60m ³ /min	茅ヶ崎市						149	
A1-1-10	下水道	一般	茅ヶ崎市	直接	-	雨水	新築	中島番屋ポンプ	雨水ポンプ 32m ³ /min	茅ヶ崎市						83	
A1-1-11	下水道	一般	茅ヶ崎市	直接	-	雨水	改築	東海岸幹線/今宿ポンプ(総合地震対策)	L=1.4km/雨水ポンプ場	茅ヶ崎市						20	総合地震対策
A1-1-12	下水道	一般	茅ヶ崎市	直接	-	雨水	改築	柳島ポンプ場	耐震化	茅ヶ崎市						11	総合地震対策
												合計			3,644		

No.2処理区

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

No.3処理区

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

合計

3,644

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
												合計			0	

番号 一体的に実施することにより期待される効果

備考

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		

No.1処理区

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

合計

0

番号 一体的に実施することにより期待される効果

備考

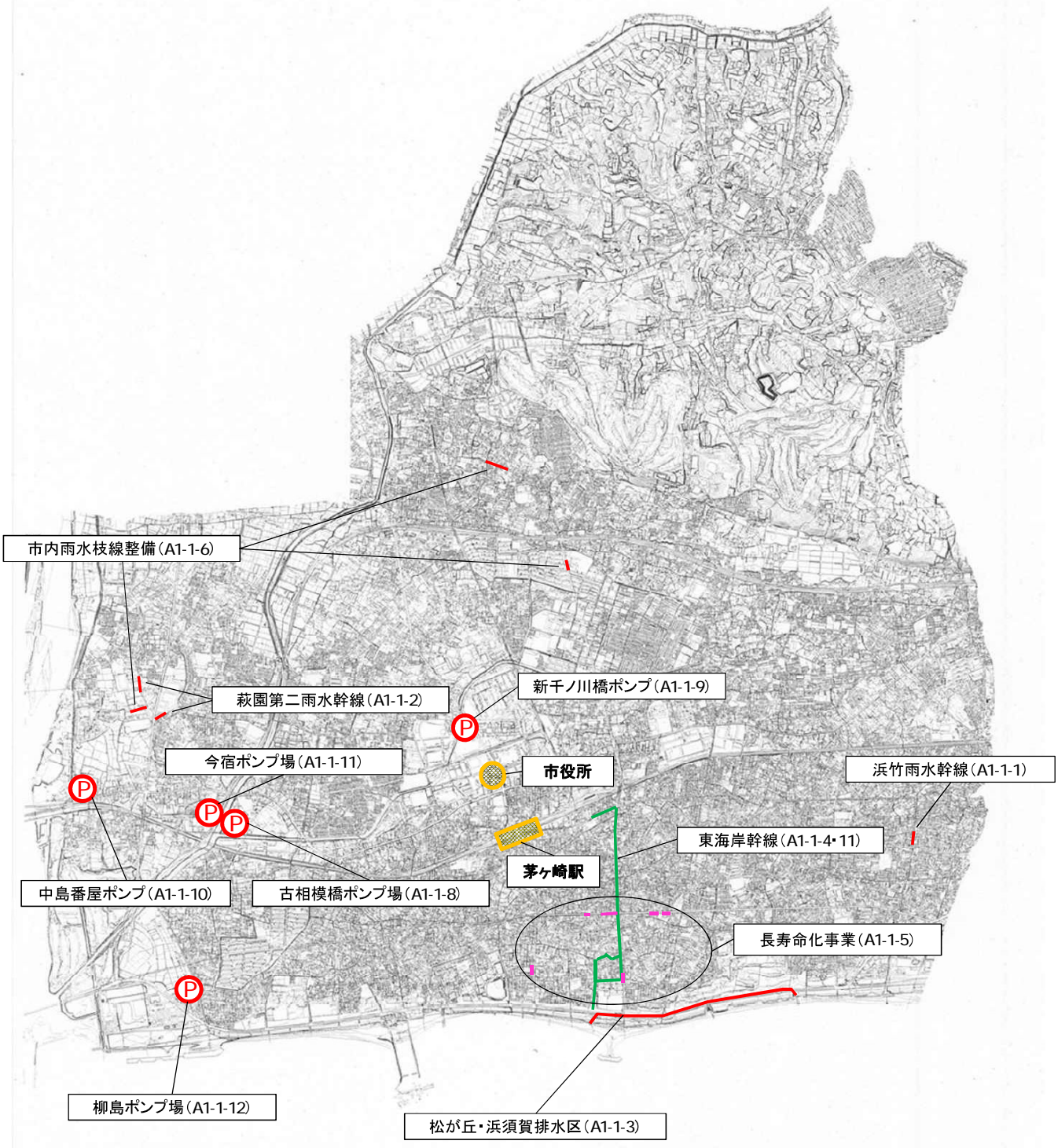
その他関連する事業													
計画等の名称 茅ヶ崎市における循環のみちの実現（防災・安全）													
事業種別		交付 対象					要素となる事業名		市町村名			全体事業費 (百万円)	
A1'-1-1	下水道	茅ヶ崎市					浜竹雨水幹線(浸水対策)		茅ヶ崎市			537	防災・安全移行先
A1'-1-2	下水道	茅ヶ崎市					萩園第二雨水幹線(浸水対策)		茅ヶ崎市			364	防災・安全移行先
A1'-1-5	下水道	茅ヶ崎市					長寿命化事業		茅ヶ崎市			141	防災・安全移行先
A1'-1-6	下水道	茅ヶ崎市					市内雨水枝線整備(浸水対策)		茅ヶ崎市			559	防災・安全移行先
A1'-1-9	下水道	茅ヶ崎市					新千ノ川橋ポンプ		茅ヶ崎市			65	防災・安全移行先
A1'-1-10	下水道	茅ヶ崎市					中島番屋ポンプ		茅ヶ崎市			10	防災・安全移行先
A1'-1-11	下水道	茅ヶ崎市					東海岸幹線/今宿ポンプ（総合地震対策）		茅ヶ崎市			174	防災・安全移行先
A1'-1-12	下水道	茅ヶ崎市					柳島ポンプ場		茅ヶ崎市			45	防災・安全移行先
A1'-1-13	下水道	茅ヶ崎市					今宿ポンプ場（浸水対策）		茅ヶ崎市			48	防災・安全移行先
C1'-1-1	下水道	茅ヶ崎市					業務継続計画		茅ヶ崎市			13	防災・安全移行先
		A'	1,943	B'	0	C'	13	$(C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))$				0.2%	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<p>①雨水幹線や浸水地域の雨水枝線及びポンプ場等の整備により、浸水区域の縮小が図られた。</p> <p>②耐震対策優先路線である東海岸幹線系統の耐震化工事により、耐震化が図られた。</p> <p>③合流式下水道の改善に必要な時留管の整備が完了したことにより、汚濁負荷量の削減及び公衆衛生上の安全確保が図られた。</p> <p>④汚水枝線の整備により、公衆衛生及び生活環境の向上が図られた。</p>			
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道による都市浸水対策達成率）	最終目標値	48%	目標値と実績値に差が出た要因	平成26年度より、防災・安全交付金へ移行し事業を進めたため、平成27年度末の最終目標値48%に対して、平成25年度末の最終実績値49%で評価した結果、事業が順調に進捗しており目標を達成した。なお、移行先である防災・安全交付金においては、平成27年度末の最終目標値は48%に対して、最終実績値は49%であり、目標を達成した。
		最終実績値	49%		
	指標②（重要な管渠の地震対策実施率）	最終目標値	69%	目標値と実績値に差が出た要因	平成26年度より、防災・安全交付金へ移行し事業を進めたため、平成27年度末の最終目標値69%に対して、平成25年度末の最終実績値40%で評価した結果、目標を達成しなかった。なお、移行先である防災・安全交付金においては、平成27年度末の最終目標値は69%に対して、最終実績値は60%と下回ったが、概ね目標を達成した。
		最終実績値	40%		
	指標③（合流式下水道改善率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	平成27年度末の最終目標値100%に対して、平成25年度末の最終実績値は100%であり、目標を達成した。
		最終実績値	100%		
	指標④（下水道処理人口普及率）	最終目標値	97%	目標値と実績値に差が出た要因	平成27年度末の最終目標値97%に対して、平成25年度末の最終実績値は97%であり、目標を達成した。
		最終実績値	97%		
	指標⑤（重要なポンプ場の地震対策実施率）	最終目標値	50%	目標値と実績値に差が出た要因	平成26年度より、防災・安全交付金へ移行するに当たり、平成27年度末の最終目標値50%に対して、平成25年度末での評価を実施することとなり、その結果最終実績値は0%となり、目標を達成しなかった。なお、移行先である防災・安全交付金においては、平成27年度末の最終目標値は50%に対して、最終実績値は50%であり、目標を達成した。
		最終実績値	0%		
	指標⑥（重要な管渠の長寿命化対策実施率）	最終目標値	44%	目標値と実績値に差が出た要因	平成26年度より、防災・安全交付金へ移行するに当たり、平成27年度末の最終目標値44%に対して、平成25年度末での評価を実施することとなり、その結果最終実績値は0%となり、目標を達成しなかった。なお、移行先である防災・安全交付金においては、平成27年度末の最終目標値は44%に対して、最終実績値は72%であり、目標を達成した。
		最終実績値	0%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記載)					
3. 特記事項（今後の方針）					
<p>今後は、平成26年度に移行した防災・安全交付金を活用し、事業を進めていく。</p>					

(参考図面)水の安全・安心基盤整備

計画の名称	茅ヶ崎市における循環のみち実現		
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）	交付対象	神奈川県 茅ヶ崎市

雨水



凡例	
	雨水整備
	ポンプ場
	長寿命化
	耐震化

(参考図面)水の安全・安心基盤整備

計画の名称	茅ヶ崎市における循環のみち実現	交付対象	神奈川県 茅ヶ崎市
計画の期間	平成23年度～平成27年度 (5年間)		

汚水



凡例	
	汚水整備